



2022年7月29日

各位

会社名 大平洋金属株式会社
 代表者 代表取締役社長 青山 正幸
 (コード番号 5541 東証プライム市場)
 問合せ先 取締役常務執行役員 松山 輝信
 (TEL 03-3201-6681)

業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年3月期第1四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年6月30日)において、最近の業績の動向を踏まえ、2022年5月10日に発表した2023年3月期第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)及び通期(2022年4月1日～2023年3月31日)の連結業績予想並びに配当予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

1. 2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (2022年5月10日発表)	百万円 25,164	百万円 735	百万円 2,101	百万円 1,856	円 銭 95.17
今回修正予想(B)	25,068	△78	2,705	2,294	117.62
増減額(B-A)	△96	△813	604	438	
増減率(%)	△0.4	—	28.7	23.6	
(参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	24,098	952	3,995	3,405	174.61

2. 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2022年5月10日発表)	百万円 50,210	百万円 925	百万円 3,844	百万円 3,513	円 銭 180.13
今回修正予想(B)	60,744	△1,516	2,508	2,167	111.11
増減額(B-A)	10,534	△2,441	△1,336	△1,346	
増減率(%)	21.0	—	△34.8	△38.3	
(参考)前期実績(2022年3月期)	57,129	4,806	12,999	11,368	582.93

3. 修正の理由

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症(以下、感染症)及びウクライナ情勢は、国内外の景気へ引き続き影響を及ぼしており、経済の先行きは、依然不確実性が高い状態で推移しております。

数量では、生産面において、前連結会計年度末直前におけるフェロニッケル製造設備3基中1基の電気炉溶融物漏出事故の影響があり、また、販売面において、中国の感染症再拡大による経済活動抑制の影響及びウクライナ情勢の長期化懸念等により不透明感の増した環境となっており、生産・販売活動は厳しい状況が予想される中で、前回公表計画の通りを見込んでおります。漏出事故の影響で停止した電気炉1基の復旧については、当連結会計年度の第3四半期を予定しております。

販売価格面では、金融資本市場の変動、ウクライナ情勢に関連する複合的な要因及びインフレ加速の影響懸念等について市場の注目度も高く、当社フェロニッケル製品の販売価格形成の指標となる当社適用LMEニッケル価格は、比較的高水準ながらも不安定な推移が見込まれます。

調達面では、ニッケル鉱石は生産に見合う数量は確保する見通し一方で、ニッケル鉱石価格及び燃料、諸原料価格等は高水準で推移しているため、生産コストが大幅に上昇しており、損益水準へ大きな影響を与えることが見込まれます。

また、当第1四半期連結累計期間において、営業外収益として持分法による投資利益1,197百万円及び為替差益731百万円を計上する見込みとなりました。

損益情報としては、2023年3月期第2四半期では、ニッケル鉱石価格及び燃料、諸原料価格等の高騰で営業利益は減益となるものの、営業外収益へ持分法による投資利益及び為替差益の計上があり、親会社株式に帰属する四半期純利益では増益となる見込みです。

2023年3月期通期では、ニッケル鉱石価格及び燃料、諸原料価格等の高騰は継続し、持分法による投資利益の計上はあるものの、各利益は減益になる見込みです。

感染症及びウクライナ情勢に伴う影響は、当連結会計年度においても継続するものと考えられますが、そうした事業環境等への対応は、当社グループの中期経営計画において掲げる基本方針等で取り組む活動に合致しており、引き続き、強く推し進めて参ります。

そのため、連結業績予想を前ページのとおり修正いたしました。なお、前提条件に関しましては（参考）前提条件の修正をご参照ください。

●配当予想の修正について

1. 修正の内容

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (2022年5月10日発表)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 50.00
今回修正予想	—	0.00	—	35.00	35.00
当期実績	—				
前期実績(2022年3月期)	—	20.00	—	155.00	175.00

2. 修正の理由

剰余金の配当につきましては、中期経営計画において、当社は株主の皆様への利益還元を重要な経営課題のひとつとして位置づけており、企業体質の充実・強化を図りつつ、連結配当性向30%を目処に実施してまいります。

配当予想については、連結業績予想の修正の結果、上記配当方針に従い、期末配当を35円とし、通期で35円に修正いたしました。

(注)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(参考)前提条件の修正

	販売数量 (t)			生産数量 (t)			適用LMEニッケル価格 (\$/lb)			適用為替 (¥/\$)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
前回発表予想 (2022年5月10日)	9,850	10,650	20,500	9,237	11,573	20,810	10.27	9.23	9.73	111.06	111.04	111.05
今回修正予想	8,516	11,984	20,500	9,008	11,573	20,581	11.92	11.00	11.38	122.46	119.03	120.46
(参考)前期実績 (2022年3月期)	12,957	14,103	27,060	11,874	14,375	26,249	8.12	9.33	8.75	109.16	113.97	111.67

以上